

# 歯学祭を終えて

第24回歯学祭実行委員長（4年） 奥井 隆文



去る10月20日・21日に、僕が実行委員長を務めた第24回歯学祭が静かに終わりました。

この歯学祭では、沢山の新しいことを試みたので、それがうまくいくかどうかがとても不安でした。しかし、その中で先輩達から受け継いできた歯学祭の良き伝統に、自分たちの代が作り出す新しい発想を織り交ぜる努力はしてきたと思っています。

実際、前歯学祭実行委員長から僕が委員長を引き継いだときからの1年間、毎日のように歯学祭のことを考えていました。まず、過去の全ての歯学祭のデータに目を通し、歯学祭のあるべき姿を模索し続け、同じ実行委員会の仲間と様々な企画を考えてきました。この苦労はいつか報われる時が来るのか、と思うほどでした。

しかし、そんな疑念は歯学祭当日には無くなりました。自分達が一生懸命作りあげてきた企画にお客さんが足を運んでくれ、また、その人達が少しでも楽しそうにしているのを見ると、単純に嬉しかったです。また、この歯学祭を行うにあたっ

て、沢山の仲間が協力してくれ、互いに結束し、信頼し、励まし合うことができたと思います。自分がこのような貴重な経験ができたのも、委員長をやってきた賜物だと思いますし、何よりも自分自身が強くなれたような気がします。

もし「今回の歯学祭は成功したのか？」と聞かれれば、おそらく「はい」と答えられると思います。講演会、模擬店、後夜祭、スタンプラリー、無料歯科相談…など、どの企画も充実していて、学生・病院関係者も外部の方も楽しんでくれたと思います。

もちろん反省点も多くあります。今になっても、たまに思い出しては悔やんでいるほどです。しかし、そのような反省点も含め、先日、次の歯学祭実行委員会との引継ぎを終えました。もうすでに、新委員長・副委員長を始め、新チームも決まりました。自分達の考えや反省、熱い思いまで全て引き継いでくれた彼等なら、もっと素晴らしい歯学祭を作りあげてくれるでしょう。

最後に、よく周囲に迷惑をかけてしまう自分を支えてくださった仲間や先生方、ご協力いただいた全ての方々、本当にありがとうございました、そしてお疲れ様でした。